



前より前へ! 長岡

人が育ち 地域が輝く

ながおかし議会だより

173号

2010・11・1

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像が見られます → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/>



巴ヶ丘もみじ公園（もみじ園）（越路地域）

もみじ園は、明治時代の大地主、高橋家の別荘の庭園としてつくられました。約4千平方メートルの敷地内には、樹齢150年を超えるもみじや山桜、カエデ類、ツツジなど多くの植物が植えられています。11月23日までは夜間のライトアップも行われ、幻想的なもみじを見ることができます。

決算審査特別委員会の委員が決まりました

9月9日の本会議で、平成21年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査する「決算審査特別委員会」が設置され、19人の委員が選任されました。

決算審査特別委員会は11月9日(火)～11日(木)に開催予定です。

委員長	矢野 一夫			
副委員長	藤田 芳雄			
委員	山田 省吾	杵渕 俊久	中村 耕一	
	細井 良雄	関 充夫	池田 彌	
	桑原 望	古川原直人	松井 一男	
	関 正史	笠井 則雄	関 貴志	
	高野 正義	家老 洋	酒井 正春	
	加藤 一康	恩田 正夫		

24日の本会議最終日でも2人の議員がこの議案に対し反対討論を行いました。起立採決の結果、賛成多数で可決されました。



一般会計補正予算を賛成34人、反対4人の賛成多数で可決しました。

一般会計補正予算を原案可決

― ホノルルでの花火打ち上げ関係予算ほか ―

9月定例会に市長から提出された一般会計補正予算は、委員会や本会議において白熱した議論が展開され、結果は原案可決となりました。議論の中心となったのは、来年3月にハワイのホノルルフェスティバルで、慰霊と平和祈願の長岡花火を打ち上げる経費を盛り込んだ日米友好の架け橋実行委員会負担金の3,980万円についてです。

9月16日の産業市民委員会では、この補正予算をめぐって賛成派と反対派の主張が対立。反対派が「公費による打ち上げは適切でない」「花火の打ち上げを急ぐより、真の日米友好の形を考えてほしい」との意見を述べたのに対し、賛成派が「トツプセールの表れとして評価する」「本市が平和を発信する歴史的事業」との意見を述べました。

一般質問

一般質問の詳細は、11月下旬発行予定の会議録、またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。



古川原 直人 議員 (2期・市民クラブ)

高齢者の所在不明について

問 所在不明の調査は、これまで100歳以上に限って行われてきたが、100歳未満でも住民登録地がない場合もある。今後、居住実態と住民登録の整合性を調査する考えはあるか。

答 市税の滞納整理などで居

市では実態調査を行い、居住実態がないと判断されれば住民登録を削除している。平成21年度は、28件の登録を職権で削除したが、今後とも関係部局と連携を図りながら、住民登録との整合性を確保していきたいと考えている。



中村 耕一 議員 (1期・公明党)

熱中症予防対策について

問 今年の夏は全国の平均気温が統計開始以来、最高となる猛暑だったが、熱中症による救急搬送の状況はどうだったか。

答 当市において熱中症また

は熱中症の疑いで救急搬送された人の数は、9月7日現在145人で、昨年の約5.8倍に増加した。中でも65歳以上の高齢者が約半数を占めており、記録的な猛暑が連日続いたことが原因だと考えている。

問 今年のような暑さは地球温暖化の進行に伴い、今後

も続くだろうと言われてい

問 非婚化や少子高齢化に伴い、今後、独居高齢者や高齢夫婦世帯が増えると予想される。地域福祉の担い手である民生委員の人材確保が難しい中、超高齢社会に対応し得る行政の姿をどう考えているか。

答 地域のつながりや家族関

係の希薄化がますます複雑化する現在、地域福祉をどのように進めていくかが国や市、地域社会に改めて問われている。市はこれまで、行政や社会福祉協議会、民生委員、地域包括支援センターなどが核となり、地域全体で住民を支え合う体制づくりに努めてきた。家族や地域のつながりは、今も失われずに地域に根付いていると考えているので、今後とも体制の見直しを行いながら、連帯の精神に満ちた地域社会の実現に努力していきたい。

問 総合福祉センターについては、民間による福祉施設を整備も選択肢の一つとして視野に入れながら、もう少し時間をかけて検討していきたいと考えている。子育ての駅についてだが、栃尾地域では、NPO法人が「産業交流センターおりにす」などを活用してさまざまなイベントを開催



長谷川 一作 議員 (2期・市民クラブ)

守門岳から日本海、自然環境を生かした地域振興策について

問 旧染色会社跡地に予定さ

れている総合福祉センターの整備の現状と今後の方針は。また、センターには子育ての駅も併設してほしいがどうか。

答 総合福祉センターについ

するなど、市民主体の子育て支援が活発に行われている。また、保育園に併設された子育て支援センターは、毎日多くの親子が集い、子育て相談や子育て支援の輪を広げる場となっている。こうした状況を踏まえると、今後は、おりにすの活用を念頭に置きながら、栃尾地域にふさわしい子育て支援について意見を聞いていくことも必要だと考えている。

ハワイでの花火 打ち上げ中止について

問 本市は真珠湾攻撃を指揮

した山本五十六の出身地である。従ってホノルルでの花火打ち上げは、ホノルル市民の心情を考慮し中止すべきではないか。

答 アメリカは、五十六が開戦に最後まで反対していたことや、戦争は政府が始めたこと、軍人である五十六に非はないということを理解している。今回のホノルルでの花火打ち上げは、長岡の花火が戦没者を慰霊し、世界平和を祈る花火だということを高く評価したホノルル市長から、



五十嵐 清光 議員 (5期・無所属)

問 不景気で税収が減少して

いる今日、花火の経費約3、200万円を全額市民の税金でまかなうことには反対である。市の考えはどうか。

答 今回の花火を通じ、本市の花火が祈りの花火であることを世界から注目してもらえ



佐藤 伸広 議員 (1期・民成クラブ)

地域主権改革について

問 三位一体改革では、補助

金や交付税が大幅に削減されたにもかかわらず、税源移譲が少なく、多くの自治体が憤慨した。三位一体改革に対する本市の評価はどうか。

答 改革の目指した「地方で

できることは地方で」「住民サービスは身近な基礎自治体が行う」という考え方は正しかった



家老 洋 議員 (3期・しんし新政クラブ)

国際交流と平和活動の推進について

問 国際交流の真の目的は、

世界平和の希求であると考えられる。これまでの国際交流は、観光や異文化体験、交流パーティーなどが中心だったが、これからは戦争や平和について議論をしたり、戦争の悲惨さを学ぶなどの平和教育もどんどん取り入れていくことが大切だと思いませんか。

答 本市の特徴からすれば、

国際交流の主たる目的は、平和交流であると考えている。従って、今後とも姉妹都市をはじめ、ホノルルやサイパンとも平和

交流を積極的に推進していきたい。現在、市で実施している海外派遣教育プログラムのうち、太平洋戦争と特に関係の深いサイパンへの派遣事業では、事前に戦災資料館で長岡空襲について学んだり、サイパンでバンザイクリフなどの戦跡を訪れるなど、戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めるプログラムを実施している。今後は、海外から中学生、高校生を受け入れる場合にも、戦災資料館での平和学習や、地元の高中生との平和をテーマにしたディスカッションなどのプログラムを充実させ、平和の尊さについての理解をさらに深められるよう努めていきたい。

※ 三位一体改革：小泉純一郎政権時代に提言された、地方分権と地方財政の改革案。国庫補助金削減、国から地方公共団体への財源移譲、地方交付税の見直しの三つを一体的に改革するというもの。



細井 良雄 議員 (1期・共産党市議団)

消雪パイプの 制度調整について

問 消雪パイプの制度調整の方針について、8月から関係する地域で説明会が行われたが、その状況はどうか。

答 説明会は、消雪パイプが設置されている合併した8地域を対象に開催し、市有消雪パイプの受益者負担や維持管理の考え方、私有消雪パイプの補助制度の考え方について説明を行った。今後は、説明会で出された意見を踏まえた上で、10月を目途に具体的な電気料金などについて説明する予定である。



藤井 達徳 議員 (2期・公明党)

児童虐待の対応について

問 本市では、児童虐待の早期発見と防止対策にさまざまな取り組みがなされているが、水面下で虐待に至る事例こそ深刻である。虐待ゼロに向けた今後の取り組みは。

答 今後は、単一の機関による支援だけでは難しいケースが増えてくると思うので、県をはじめ、子どもたちと関わりのある機関との連携強化が最重要課題だと考えている。これまでも市は、自分から支援を求められない家庭の早期把握に努めてきたが、今後とも子どもや親のちょっとした変

問 最も積雪が多い小国、越路地域では、長年の努力で敷設した消雪パイプでの除雪を生命線としてきた。しかし、調整案によれば、この地域では消雪パイプの新設、電気料金負担のいずれも、これまでの制度から大きく後退する。それだけは何としても避けてほしいがどうか。

答 制度調整には、地域の特色により負担が増える部分と減る部分があるので、トータルで考えてほしい。現在、消雪パイプが除雪の主力となっている地域について、住宅の密集状況や各路線ごとの消雪パイプ電気料の実態調査を行っているので、その結果を把握した上で、10月から具体的な説明をしていきたい。

●その他の質問
・長岡市の国民健康保険の今後の運営について
・周辺地域の公共交通ネットワークの維持・充実について



関 充夫 議員 (1期・市民クラブ)

市民協働条例の検討について

問 市民協働は自己資金だけで続けるのは難しい。市の助成金制度もあるが、これも持続的に受けることはできない。他市では寄付基金を使った事例も見られるが、市民活動に対する財源についてどう考えているか。

答 市民活動の財源をどのようか手当てしていくかは条例の中できちんと位置付けていきたいと考えている。この市民活動へ資金が回る仕組みについては、条例策定のための検討委員会でも特に重要な課題になっている。現在、市民や企業、行政が資金を提



笠井 則雄 議員 (3期・共産党市議団)

中心市街地開発と分散配置の 市役所の形について

問 6月定例会で議決されたペダストリアンデッキ工事は、長岡駅からアーケードまでとなっている。アーケードからアオーレ長岡までの事業内容はどうか。

答 アーケードからアオーレ長岡までの延伸区間のうち、民有地を通る部分は、地権者が建設する予定のビルの一部を通路として確保してもらうことで了解を得ている。また、アオーレ長岡の敷地内については、本体工事の契約を変更して、接続部分を増築し

問 今後、市民協働条例を活用し、市民と行政の関係をどう築いていくのか。協働の進展による本市の未来像について、どう考えているか。

答 行政に公平性や確実性が求められる一方、市民活動には市民の自由な発想ですぐに実行できるという機動性がある。今後は、この行政と市民活動の2分野を明確に分け、それぞれが対等な関係で特徴を發揮し合えるような関係を実現することが最も大切だと考えている。そのためにも、市民活動の財源をどうするかを含め、市民の自由な発想やパワーが十分發揮される環境づくりを取り組んでいきたいと考えている。

●その他の質問
・自衛対策について



諸橋 虎雄 議員 (2期・共産党市議団)

合併地域の 子育ての駅整備について

問 市内3カ所の子育ての駅は、いずれも多くの家族連れでにぎわっているが、合併地域からは遠過ぎてなかなか利用できないのが現状である。栃尾地域でも栃尾らしい子育ての駅を整備してほしいがどうか。

答 子育ての駅のような施設を整備してほしいという気持ちはわかるが、市の子育て支援策は、子育ての駅だけで成っているわけではない。例えば保育園に併設されている子育て支援センターは、子育て相談や交流の場にな



丸山 勝総 議員 (2期・市民クラブ)

第8次長岡市 交通安全計画に基づいた 交通安全対策の推進について

問 通学路の安全性を確保するために、路肩をカラー化するミストグリッド工法やセンタラインを消し歩道幅を広げる愛知方式などを取り入れ、道路改良を進めてほしいがどうか。

答 ミストグリッド工法は、今年度、試験的に行う予定である。実施箇所については、危険箇所調査の結果や地域の意見を聞きながら選定していきたい。また、愛知方式については、本市でも一部の道路で実施している。

問 新たに誕生したちびっこ広場には、子育て関係書など約1万冊を備えたまちなか絵本館が併設されにぎわっている。この絵本館の巡回利用を検討してほしいがどうか。

答 まちなか絵本館は、子育て中の保護者から大変喜ばれているので、提案のあった絵本の巡回利用は行っていきたいと考えている。現在、中央図書館が米百俵号というバスによる巡回を行っているため、持っていく本の内容を十分充実させて要望に応えていきたい。

●その他の質問
・介護保険制度について

問 長引く不況で要保護児童・生徒の数が増えている。こうした児童・生徒が、安心して学校生活をおくれるようにするために、学用品費などを補助する「要保護児童生徒援助費」や「標準要保護児童生徒援助費」を一刻も早く予算措置すべきと考えるがどうか。

答 今年度、要保護世帯に対する援助費の項目に、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が追加されたが、これらは要保護児童・生徒に対しては、既に生活保護費の中で支給している。なお、世帯の所得状況に応じて認定している標準要保護児童・生徒に対しては、今後、県内他市の動向も見ながら検討したいと考えている。

●その他の質問
・自衛対策について

問 交通安全需要マネジメントについて、これまでの取り組み状況と今後の計画はどうか。

答 市では、公共交通基本計画を定め、公共交通の利用促進に取り組んでいる。具体的には、路線バスの運行支援やバス停上屋の整備、シビックコア地区におけるパーク・アンド・ライド駐車場の整備など、移動手段の変更を促すことを目的とした政策に取り組んでいる。バス利用者はこの10年で260万人も減少しているため、当面は利用者の現状維持を目標としつつ、自家用車から公共交通への転換に向けた政策を推進していきたい。

一般質問

会議録は、議会事務局、各支所、市民情報ラウンジ、情報公開コーナー、市民センター、市内図書館等に置いてあります。

市議会の活動状況

● 議会運営委員会

- 7月27日 7月臨時会の運営方針について
- 8月9日 9月定例会の会期の決定について
- 9月3日 9月定例会の運営方針について
- 9月9日 9月定例会招集日の運営方針について
- 9月24日 9月定例会最終日の運営方針について



● 議員協議会

- 7月27日 ・総合計画後期基本計画の策定に関わる前期基本計画の評価について
- ・行政経営改革プランの実施結果について
- ・合併検証について
- ・過疎地域自立促進計画の策定について
- 8月12日 ・都市計画マスタープラン（素案）について
- 10月29日 ・総合計画後期基本計画の策定について
- ・過疎地域自立促進計画の素案について
- ・都市計画マスタープラン（案）について

● 委員協議会

- 9月15日 文教福祉委員協議会
- 9月16日 産業市民委員協議会
- 9月21日 総務委員協議会

9月定例会 議決結果

9月定例会は、9月9日から24日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

また、市長提出議案37件、請願1件を審査し、それぞれ右表（会派別議案賛否一覧表）のとおり議決しました。

今号では、7月27日に開かれた7月臨時会の議決結果も掲載します。

人権擁護委員の推薦に同意

9月24日の本会議最終日に、次の方を推薦することに同意しました。

- 櫻井 陽一氏（新任）
- 古屋 信司氏（新任）
- 中曽根勝彦氏（再任）
- 小林 修子氏（再任）

会派別所属議員

市民クラブ	酒井 正春	丸山 勝総
	高野 正義	関 正史
	松井 一男	加藤 尚登
	丸山 広司	関 充夫
	池田 彌	鈴木 正一
	古川原直人	長谷川一作
民成クラブ	藤田 芳雄	杉本 輝榮
	佐藤 伸広	加藤 一康
	小坂井和夫	恩田 正夫
	永井 亮一	水科 三郎
しんし新政クラブ	杵淵 俊久	山田 省吾
	家老 洋	
無所属の会	西澤 信勝	大平美恵子
	桑原 望	
公明党	藤井 達徳	中村 耕一
	山田保一郎	
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
	細井 良雄	
無所属	関 貴志	
	五十嵐清光	

会派別議案賛否一覧表

9月定例会

○：議案に対して賛成 △：議案に対して継続審査 ×：議案に対して反対

議案	会派名 ()は所属議員数								議決結果	
	市民クラブ (16)	民成クラブ (6)	しんし新政クラブ (5)	無所属の会 (3)	公明党 (3)	共産党市議団 (3)	関貴志議員	五十嵐清光議員		
市長提出議案	補正予算	○	○	○	○	○	×	○	×	原案可決
	平成22年度長岡市一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	平成22年度長岡市国民健康保険事業特別会計 ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	長岡市手数料条例 ほか8件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	町（字）の区域および名称の変更（3件）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市道路線の認定および変更	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	契約の締結（養護学校校舎増築工事）ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
決算	契約の締結（シティホール(仮称)建築工事変更契約）ほか3件	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決
	財産の取得（大手通中央東地区庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	財産の取得（長岡アーカイブスセンター(仮称)）ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	決算の認定（5件）									※ 継続審査
	平成21年度一般会計・特別会計	△	△	△	△	△	△	△	△	
平成21年度水道事業会計・ガス事業会計										
平成21年度川口町一般会計・特別会計										
平成21年度川口町ガス事業会計										
平成21年度長岡地域広域行政組合一般会計・特別会計										
人事	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	請願	△	○	△	○	○	○	○	○	継続審査
子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成に関する請願										

※ 決算の認定については、11月9日～11日に開催予定の決算審査特別委員会で審査します。

7月臨時会

市長提出議案	補正予算	その他
補正予算	平成22年度長岡市一般会計	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 原案可決
その他	契約の締結（栃尾地域ケーブルテレビ施設整備工事）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 原案可決
	契約の締結（長岡ニュータウン運動公園整備工事）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 原案可決

議員の年賀状は禁止されています 市議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、選挙区内の人に対して年賀状を出すことやお歳暮などを贈ることが公職選挙法で禁止されています。ご理解をお願いいたします。